

 ゆざまち

議会だより

No.171

12月定例議会号

令和8年(2026年)

2月1日発行

遊佐町議会
ホームページ



とるぞお〜!

関連記事…P.16

12月定例会

松くい虫防除・クマ対策費用 気になる補正予算は…P.2
議員が「今、聞きたいこと」(一般質問) ……P.4
議案内容と採決の結果は ……P.8
町民と熱く語る「遊佐町のこれから」 ……P.9

常任委員会が先進地域をレポート(管外視察報告) … P.12
シリーズ遊佐人②(とんぴんがたりの会) …… P.15
お買物券を当てよう! 議会クイズ・編集室より … P.16

図 当初300万円、計4000万円。全量伐倒は断念し、重点地区と道路・建物際に限定し実施する。



被害が拡大している松林

問 3700万円の追加補正だが、7年度総額と今後の見通しは。

(遊佐 亮太)

被害木伐倒の方針

松くい虫対策

補正予算審査特別委員会

12月5日

松くい虫防除費用(町単独)3700万円
を含む9800万円の補正予算が可決

その他の補正予算

有害鳥獣駆除事業	448万円
障害児通所給付等事業	920万円
酒蔵原料米高騰支援事業	400万円
人勧等による職員人件費	1976万円
事業先送りのための用地取得助成金	-3000万円



補正予算審査特別委員会

委員長 渋谷 敏
副委員長 遊佐 亮太



審査の詳細い内容は二次元コードからご覧ください。

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

町民と議会の懇談会

委員会レポート

遊佐 人

安心・安全な暮らし

空き家利活用を
支援する事業

問 空き家の家財道具処分支援が、当初予算に対し7割ほど増額になるのは。

(菅原 和幸)

図 7年度の受付は5件である。処分費の2分の1の20万円を上限に助成する制度である。今後の状況によって、さらに補正も想定する。

施設管理委託料

問 児童遊園地管理費として7万円の補正だが、どのような内容か。

(本間 知広)

図 蔵岡児童遊園地のアメリシロ防除委託料として計上。8月に既決予算で実施済みで、それを補填するもの。

支障木伐採事業

問 適切な管理をしないことでの伐採。再考の余地は。

(佐藤 俊太郎)

図 町民に危険を及ぼさないための必要な措置である。再考はしない。



伐採予定の生涯学習センターの樹木

通院や
スポーツ大会にも随行

問 手話通訳者派遣事業の増は、利用者増によるのか。要約筆記も含むのか。

(菅原 和幸)

図 聴覚障害者からの申請により、手話通訳・要約筆記者を派遣する事業である。申請増と対応時間増による増額である。

福祉の充実

障害児通所給付金

問 利用者増による増額補正だが、その理由は。

(伊原ひとみ)

図 7年7月に町内に新しく事業所が開設したことにより利用者が増えた。

防災・消防

自主防災会活動助成金

問 9月・12月議会で2度の補正計上。今後の申請受理予定は。

(伊原ひとみ)

図 7年度の受理は終了。今後、協議があったものは、改めて8年度検討する。

消防施設維持補修費

問 消防施設の維持補修費として57万円の補正だが、詳細は。

(本間 知広)

図 水上集落ポンプ小屋のシャッター更新工事に30万円。小型ポンプ複数台の修繕費に27万円計上するもの。

クマ対策

クマ捕獲ワナの購入
納品時期は

全国的なクマ被害で
ワナが手に入らないと聞
く。7年度の対策に間に
合うか。

(今野博義)

ワナの所有は鳥獣被
害防止対策協議会。現在
購入済ですで使用して
いる。補正予算は協議会
に対する補助金となる。



新たに購入した箱ワナ

快適な生活環境

水道事業会計補正予算

7年度の収益的収入
の着地見込みと修繕費増
額の詳細は。

(遊佐亮太)

冬季の想定外の使用
水量減がなければ、収入
は概ね予算通りの見込み
支出増は経年劣化の修繕
工事。

水道事業会計の支払利息

63万円の増額。年間
1246万円の支払いに
なるが増額の理由は。

(今野博義)

増額は6年度平津配
水池緊急遮断弁設置工事
で起債した企業債(借入)
の利率が、当初見込みよ
り上がったため。

生ゴミ処理機購入補助金

7年度、現在までの
補助金実績は。

(佐藤 俊太郎)

電気式6件、自然発
酵式5件で補助金合計約
21万9千円である。

生涯学習推進費の
工事請負

生涯学習推進費47万
円の施設改良工事の内容
は。

(斎藤 弥志夫)

生涯学習センター駐
車場の白線が消えている
ところが多々あり、白線
を引き直すもの。

蔵岡まちづくりセンター

備品整備費の内容と
改築工事の今後のスケ
ジュールは。

(那須 正幸)

机、椅子など管理備
品が主で、4月初旬に納
入予定。センターは8年
度開設予定である。



改築中の蔵岡まちづくりセンター

その他質疑

登山者増で

町負担も増える

山岳トイレに係る費
用が増えている。登山者
への負担協力が必要では
ないか。

(那須 正幸)

現在トイレにチップ
ボックスを設置し、協力
金をいただいている。8
年度はクラウドファン
ディングの実施に向けて
検討する。

普通交付税の留保額

今後の地方交付税が
入る見込みはゼロなのか。

(駒井 江美子)

交付額が確定してい
るのでゼロとなるが、国
の補正予算により追加交
付される場合もある。

社会教育総務費の

減額補正

社会教育総務費の報
酬9万円の減額はいかな
る理由によるものか。

(斎藤 弥志夫)

今後設立予定の生涯
学習センター改築検討委
員会に対する「報酬」を
「報償費」に付け替えた
ため。

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

町民と議会の懇談会

委員会レポート

遊佐 人

一般質問

町の事業と課題を問う 10 議員登壇

12月2日・3日

菅原和幸 議員

○「遊佐の宝」でもある一次産業の継承施策は

遊佐亮太 議員

○子育て施策の展望は

本間知広 議員

○老朽化した生涯学習センター

伊原ひとみ 議員

○鳥獣被害 今後必要な対策は

斎藤弥志夫 議員

○丸池様の歩道整備

駒井江美子 議員

○子どもとメディア

今野博義 議員

○「新・道の駅」 開業時期に変更はないか

那須正幸 議員

○子ども教室と児童クラブ

渋谷敏 議員

○「まちづくり計画」の検証は

佐藤俊太郎 議員

○漂着ゴミに対する現在の対応状況

一般質問とは

町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。*各議員の一般質問録画映像は二次元コードからアクセスしてください。



「遊佐の宝」でもある一次産業の継承施策は



町のホームページで
「地域計画と目標地図」が閲覧可能

評価・分析はこれからとなる
 現段階では、評価・分析し施策を展開するところまでは至っていない。
 今後も、農業の課題解決に向けた取り組みを進めていきたい。町の各施策を進めるにあたっては、企画課を中心に行う。

問 「地域計画」が、7年3月までに策定された。同計画を評価・分析し、「町の将来に繋がる農業施策」が具体的に検討されているか。
 町の各施策を「束ねて推進する」部署の設置の考えはないか。



すがわら かずゆき
菅原 和幸
議員



質問者の動画が見られます。



子育て施策の展望は



問 学童と放課後教室の一体的な方向性、中高生の支援や居場所、産婦人科などへの移動や療育支援を整理し、人口ビジョンの出生率・年少人口目標を実現する具体策は。

子育て施策の現状と方向

答 放課後教室は段階的に終了し児童クラブへ移行予定。中高生の居場所として、おでこベース設置の支援をした。移動支援は福祉タクシーなどの充実を検討する。人口対策は長期的な視点で対応する。



質問者の動画が見られます。

老朽化した生涯学習センター



老朽化が著しい生涯学習センター

問 生涯学習センターは、昭和47年1月に完成し、以来50年以上の年月が経っている。これから町の今後10年間の総合発展計画が示されるが、老朽化が著しい施設にどう対応していくのか。

7年度中に改築検討委員会を設置

答 今後7年度中に改築検討委員会を設置予定。また、各課の留意課題や期待される機能を抽出し、委員会と共有を図っていく。8年度以降はアンケートなど実施しながら、丁寧に検討を進めていく。



質問者の動画が見られます。

鳥獣被害 今後必要な対策は



冬季間も引き続き警戒を
(県のホームページより)

問 全国的にも大きな問題となっている鳥獣被害。当町も連日出没情報が配信されている。駆除と同時に集落に寄せつけないための必要な対策と町民がやるべき対処法は。

まずは駆除不用果樹伐採も重要

答 11月25日現在でクマの駆除頭数は20頭。現状の対策として、まずは駆除していくこと。町民には所有地の不用果樹伐採と草刈などの適正な管理、県と連携した補助制度も活用してもらいたい。



質問者の動画が見られます。



丸池様の歩道整備



整備されていない歩道

河川区域の境界の洗い出しを行う
問 牛渡川は県が河川管理者であり、砂利道になっている箇所は河川管理区域であるのか把握できていない。まずは、河川区域の境界の洗い出しを行い、関係者と調整していく必要がある。

答 牛渡川そばの丸池様への歩道は砂利が敷いてあるだけで整備が十分とはいえない。橋を渡ってからはブロックが敷かれていて歩きやすい。砂利敷きをブロックに変更するなど整備し直すのが妥当である。



質問者の動画が見られます。

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

町民と議会の懇談会

委員会レポート

遊佐人

子どもとメディア



メディア以外の選択肢として
 小学校のプール開放を（旧蕨岡小学校プール）

小中学校ではアンケートを実施
問 小中学校では、アンケートでメディアの使用状況を把握。児童生徒だけでなく保護者にも講演やお便りで啓発活動を行っている。乳幼児健診時にもメディアの上手な使い方をリーフレットなどで周知している。

答 ネット依存やSNSトラブルなどが低年齢化する今、町は子どもとメディアの現状をどのように把握しているのか。
 また、ネットモラルなどの啓発活動の取り組みは行っているのか。



質問者の動画が見られます。

「新・道の駅」開業時期に変更はないか



新・道の駅「えっぺけ」建設予定地
 （7年12月現在）

開業は当初計画通りの予定
問 現在のところ開業後の町の収入として、営業利益の15%を納付する提案を受けている。他の道の駅の事例ではこれを積み立てし、改修費用に充てるとも聞く。建設目的の基金を一定額残す手法も検討している。

答 多額の資金を投入して建設。すでに決定している運営事業者には毎年2300万円（参考価格）の管理料を支払う計画。開業後、町に入る見込みの収入と持続可能な維持管理のための方法は。



質問者の動画が見られます。

子ども教室と児童クラブ



問 将来的にまち協と連携「体験型」へ
答 合意形成が必要なため説明が遅れた。他から「ふじっこ」への移動は考えていない。町の補助制度があるので相談を。対象については事業者が認定を行う。「ふじっこ」は8年度で終了となる。

問 吹浦・高瀬の教室終了の説明の遅さや他から「ふじっこ」への移動の説明。児童クラブは有料だが補助制度は、昼家庭に保護者がいない家庭対象だが、希望する家庭への対応と「ふじっこ」の今後。



なすまさゆき
那須 正幸
議員



質問者の動画が見られます。

「まちづくり計画」の検証は



問 計画策定後の検証はしていない
答 各地区のまちづくり協議会において計画を策定している。第2期計画を策定した地区や、未策定の地区もある。計画に基づいた事業運営が行われているが、現状町として振り返りや検証は行っていない。

問 まち協が「まちづくり計画」を策定することにより、地区の目標課題が明確になり見直しの検証をする指針になるとし、まちづくり事業にとっても有効であるとしている。まち協になって14年後の検証は。



しぶや さとし
渋谷 敏
議員



質問者の動画が見られます。

漂着ゴミに対する現在の対応状況



出羽二見への漂着ゴミ

問 情報収集して研究したい
答 鶴岡市由良では、機械を使いゴミを回収している。また全国各地でも実施しているとのこと。情報を収集して研究したい。

問 漂着ゴミを定期的に回収しているが、現状は人力によるものがある。他地区では機器により回収している事例もある。当町でも機器の導入を検討してはいかがか。



さとう しゅんたろう
佐藤 俊太郎
議員



質問者の動画が見られます。

10月臨時会の議案内容(事件案件 1件)

議案番号	議案名	内 容
議80号	R6災46-5杉沢 (3) 農地・農業用施設災害復旧工事請負契約の締結について	R6災46-5杉沢 (3) 農地・農業用施設災害復旧工事を施工するに当たり契約するもの

〈傍聴者 なし〉

12月定例会の議案内容 (一般会計補正予算他、11件)

議案番号	議案名	内 容
議81号	令和7年度遊佐町一般会計補正予算 (第4号)	歳入、歳出にそれぞれ9800万円を追加し 歳入、歳出それぞれ112億7000万円とする
議82号	令和7年度遊佐町国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	歳入、歳出にそれぞれ1548万9千円を追加し 歳入、歳出それぞれ15億9876万9千円とする
議83号	令和7年度遊佐町介護保険特別会計補正予算 (第2号)	歳入、歳出にそれぞれ300万円を追加し 歳入、歳出それぞれ19億5700万円とする
議84号	令和7年度遊佐町水道事業会計補正予算 (第2号)	資本的収入に903万6千円追加し、水道事業費用に274万2千円追加するもの
議85号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	山形県人事委員会勧告に準じ、職員の給与改定を行うもの
議86号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	山形県人事委員会勧告に準じ、一般職の職員の期末勤勉手当の改定に伴い特別職の改定を行うもの
議87号	遊佐町子どもセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	子どもセンター2施設に加え、新たに子どもセンター吹浦分館を追加設置するため
議88号	R6災46-102江地 (2) 西通川揚水機場災害復旧工事に係る請負契約の一部変更について	R6災46-102江地 (2) 西通川揚水機場災害復旧工事請負契約に938万3千円を増額するもの
議89号	自治体情報システムの標準化に伴う機器の取得について	標準化に対応するため必要とするノートパソコンなどを1660万円で取得するもの
議90号	遊佐パーキングエリアタウン (新・道の駅) 整備事業用地の一部処分について	事業用地の一部を道路区域に設定するため、東北地方整備局へ財産処分を行うもの
議91号	遊佐町総合発展計画 (第9次遊佐町振興計画) 基本構想の策定について	遊佐町総合発展計画 (第9次遊佐町振興計画) 基本構想の策定に当たり関係条例に基づく決議
議92号	遊佐町教育委員会委員の任命について	帯谷賢道氏を新たに教育委員に任命することに同意

〈傍聴者 のべ7人〉

賛否が分かれた議案 12月定例会

○賛成 ×反対 議長(高橋冠治) は採決に加わらない

上程議案	遊佐亮太	伊原ひとみ	駒井江美子	今野博義	渋谷敏	本間知広	那須正幸	佐藤俊太郎	菅原和幸	土門治明	斎藤弥志夫	高橋冠治	議決結果 (賛成：反対)
議第81号 令和7年度遊佐町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	可決 (10：1)
請願第3号 保険薬局も無料低額診療事業の対象とすることを求める意見書の提出に関する請願	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	—	否決 (1：10)

～車座で話そう 遊佐町のこれから～

7年度

町民と議会の懇談会

11月18日開催 場所 遊佐町生涯学習センター

7年度の懇談会は、平日夜に会場を一か所で開催しました。また参加者の方が意見を話しやすくする試みとして、4班に分かれて、飲み物とお茶菓子を片手に車座になって行いました。新しい形での懇談会には、20代～80代までの46名の方にご参加いただきました。お忙しい中、ご参加、そしてたくさんのご意見をありがとうございました。

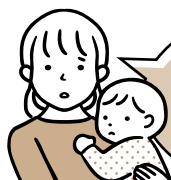


懇談会の
報告書



参加者の声の一部をアンケートよりご紹介します。

初めての試みではあったが、一方的に説明を聞く形よりはとても良かった。



他の方の発言を聞いて、関連して話したいことが出るので、テーマごとの意見交換の時間がもう少しあっても良かった。

町民だけでなく、議員の方々の意見も聞きたかった。



他の地区の方々の話も聞けて良かった。町政座談会もこのようにできると良いと思った。



時間的にテーマが多すぎるので、2つくらいいいのではないかな。



他にも時間が足りなかったこと、班の人数のことなど様々なご意見をいただきました。今後の懇談会をどのようにするか、より良いまちづくりのために今後も検討していきます。

に沿った皆様のご意見

いただきました。一部をご紹介します。



遊佐高生への助成は、充実し素晴らしいと思うが、酒田市の高校に通学する生徒たちには、助成制度があまりないというのが正直な思いである。単に授業料が無償とか、医療費が無料とか以外にもたくさんのお金が掛かると思うので、より充実したやり方、遊佐高生だけに偏らない対応をしていただきたい。町外に通学する高校生も大事な宝物である。

放課後の子どもの居場所、小学校が一つになったことで児童クラブ・子ども教室とか低学年は帰る時間が早いので遊んでいるが、高学年は来たと思ったら迎えの時間で集団を作って遊べない。学校が統合したことの弊害。保育園が無くなり昼間の子ども達がいなくなる、遊佐町から高校が無くなるのと同じなのでは。

テーマ

1

子育て・学びの環境充実

民生児童委員であり、見守り活動や学校との懇談などで話を聞いたりするが、表面には出ないが、いじめやひきこもりがある。そのような子どもたちが気軽に通える居場所を充実していただきたいと考える。

遊佐高校支援について、寮母さんが足りない。食事を作ったり夜泊まって生徒の監護をしているが負担をもう少し減らせると良い。県外留学生など人手がほしい行事や雪かきなど声をかけてもらえるとお手伝いできると思う。

子どもたち（小中高）が家以外で過ごせる放課後の居場所があるといい。酒田市は、駅前にカフェや図書館があるが、遊佐町にはあまりない。家に居るしか選択肢がない。



補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

町民と議会の懇談会

委員会レポート

遊佐人

避難所開設にあたり、特にカギ（施設）の管理に関して行政のいわゆる「縦割り」の弊害を感じる。

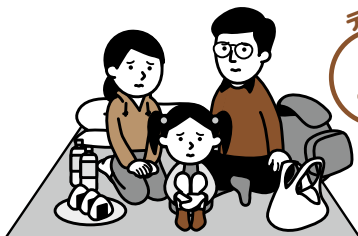
自主防災組織があるが、形骸化しているように感じるので、きちんと機能するような組織づくりをしていく必要があると思う。

私の集落にも、自主防災組織はできていない気がする。どこに誰が住んでいて、年代や体調のことも分からないし、その方々を助けられるのかという心配があった。水害以降、近所の人達とのコミュニケーションをもっと取るべきと思った。

テーマ

2

実効性ある防災拠点整備と共助体制の構築



昨年の大雨の際、当集落の区長は不在だった。日中は若い世代が働いており、区長も働いているなど、集落だけでは難しい組織づくりなのかなと思う。実家が床上浸水したが、ボランティアの方々から一生懸命に手伝っていただいた。ボランティア制度についても考えてもらいたい。

蔵岡地区の避難場所が水の準備や段ボールベッドやトイレなどの整備が全然できていなかった。健常者にも何もないのであれば、障がいのある子どもたちを連れては避難しにくい。障がいがある方に必要な備品なども整えてほしい。

これまで米価はあまりにも単価が安く、儲からない時代が長く続いた。補助も少ない中で、農家をやる人が激減した。そのような状況で、子どもに「継いでくれ」とは言えない。

個人で高額な機械を買うことは非常に大変。しかも稼働率が悪く、とても儲からないように感じる。生産費は上がり、農家の経営が厳しいことには変わりはないが、儲かる仕組み作りに取り組む必要があると思う。

どうして農業をやる人がいないかは、結局儲からないから。お米が高いというが、本当に高いのか。消費者も食料、水の問題を勉強しておく必要があるのでは。



テーマ
3

農業担い手育成と産業活性化

グループでそばを栽培している。生産から加工まで行っており、乾燥し粉にして提供するまでを流れている。しかし、人ができる部分は限られており機械は必要である。機械を購入するときの補助システムは、こちらから聞かないと情報がこない。町から声掛けをしてもらえればありがたい。イノシシの被害対策も一緒に考えていただきたい。

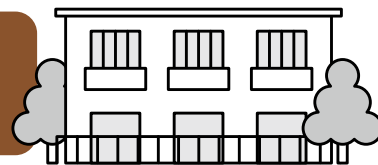
後継者がいなくなった家や田んぼは、最終的にはどうなるのか知りたい。法人化については、作るだけでなく加工まで含めるべきではないか。私たちも働ける場所がないので、法人で加工までできるようになれば働きにも行けるし、そういうところを試してみたらいいと思う。

都会で仕事をしていてリタイアした人たちが地方、自然の中で暮らしたい人は多い。例えば生活クラブの人たちが移住してきて援農している。農家が忙しいときにはお金を払ってでも手伝いに行くという面白い団体。こういったものを活用してはどうか。

酒田市に移住し、遊佐町で農家をしている方がいると聞いたことがある。遊佐町のように自然のいいところには住みたいけれども、高齢化した人がひとりで住むには大きすぎる家や冬場の厳しさなどを考えると、自分が将来の生活が困難になった時に、その場で続けられるかななどの問題が発生してくると思う。遊佐町にも、集合住宅的なものが、もう少しあっていいと思う。

テーマ
4

関係人口を拡げる学習・交流プログラム



関係人口や農業に関しては、土地探しがあると思う。しかし、貸し手と借り手にはギャップがあり、マッチングするのが難しいと思う。自然はあるけど何もなかったところもある。昨年の災害時には二ノ滝に行くのも大変だった。気軽に行けるよう整備に力を入れていただければと思う。一方、建物の老朽化もあるだろうが、それらを含め長期的に進めていただきたい。

関係人口の意味を全体ですり合わせる必要がある。その上で個人的には「地域の熱」があればいいと思う。抽象的だが、人とのコミュニティであったり、前向きなエネルギーが伝われば、リピーターが増えたりすると思う。



金山住宅の街並み

山形県金山町

街並みの 景観を守る意識

昭和61年に「街並み景観条例」が制定され、街並みの景観を守る意識が町に根付いている。平成25年に制定された「街並み景観助成金」は、「金山住宅」と呼ばれる白壁と切妻屋根をもつ在来工法に改修する工事に対して助成金を出す仕組みで、地場の金山杉の使用を促進し、景観の維持にも一役買っている。空き家の解体撤去費用の一部を助成

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

町民と議会の懇談会

委員会レポート

遊佐人

する制度もあり、老朽化が著しい住宅から一般的な空き家まで、建物の状態に応じた助成枠が設けられている。

《視察を終えて》

土門 治明

町民の安全安心の確保と、美しい景観づくりが両立していた。本町の制度の改善も検討が必要と考える。

遊佐 亮太

空き家という社会課題に対し、一貫した政策で多方面から向き合う姿勢に、参考になる部分が多いと感じた。

北海道厚真町

地域おこし協力隊の 卒業後を見据えた 制度設計

厚真町の地域おこし協力隊は、多様な地域ニーズに対応すべく6つの活動類型が設けられ、単なる行政補助者ではなく将来的に地域に根差した職業人となりう

る「担い手候補」として位置づけられている。「農業担い手育成センター」を拠点とした就農希望者の育成支援体制「ローカルベンチャースクール」による起業家育成の仕組み、これらにより78名中47名が卒業後の定住に至っている。



厚真庁舎内での座学

《視察を終えて》

渋谷 敏

協力隊などの人材誘致制度に対し町全体が取り組むことで成果が出ている。施策を深掘りする体制は参考になりたい。

佐藤 俊太郎

卒業後に町内での居住就農を目的とし、教育的施設などで細やかな支援体制を充実させ、就農率を高く保持していた。

北海道千歳市

災害疑似体験 防災学習交流施設 「そなえーる」

地震の揺れを再現する起震装置、煙避難体験装置、予防実験装置、各種避難器具の展示コーナーなどが備えられており、災害を「学ぶ・体験する・備える」をテーマとした体験学習ができる。屋外で消火や救助訓練を学ぶ広場（愛称「学びの広場」）、最大150名規模の野外宿泊訓練も可能な設備（愛称「防災の森」）も併設されており、災害発生時にはこれらの施設群が地域の防災拠点として機能する想定である。



起震装置を体験

《視察を終えて》

斎藤 弥志夫

そなえーるは、災害を学ぶ、体験する、備えるの視点から疑似体験をしながら行動を学ぶことができる。

今野 博義

「東日本大震災」の疑似体験。突然この地震が起きたら…と改めて何が出るのか防災への心構えを学んだ。

鳥根県美郷町

住民が自ら動く 鳥獣被害対策

平成11年から鳥獣被害対策、主にイノシシにプレズに取り組んできた。夏の農作物の被害対策から、農家が自ら捕獲できるような仕組みを作った。

農家が捕獲したイノシシを町の施設で処理、加工して町内小中学校の給食や、飲食店で使ってもらうようにして、ブランド化。皮も手仕事の得意なお母さんたちから小物を作ってもらい町内限定で販売している。

現在は、産・官・学・民が連携し、鳥獣害対策の知



イノシシ肉のハンバーグ定食

が集まる「美郷バレー構想」を推進している。具体的なイノシシ対策も教えていただいた。

《視察を終えて》

伊原ひとみ

主にイノシシ対策を詳しく説明してもらった。当町にも取り入れられる策もあり、今後に生かしていきたい。

高橋冠治

元々、狩猟の文化があり、猟友会と農作物被害対策の利害調整がこの取り組みの肝だったと感じる。



お母さんたちの手仕事

鳥根県大田市大森町

石見銀山大田 ひと・まちづくり 事業協同組合

総務省の特定地域づくり事業協同組合制度の活用を5年度から開始。この制度は、2事業者以上の組合が派遣事業を行い仕事の組み合わせで年間通した仕事の確保をするというもの。

活動の原点は、生まれ育った町への愛着、産業がないという課題。わくわくを大切にしたいうえで、人口が減る今後を見据え、地域の担い手を確保すること、若者の夢を応援する手段として活用している。



代表からの説明

《視察を終えて》

菅原和幸

人の循環あつてこそ「地域を持続できる」を根幹に「自ら地域は、自らで作る」との意気込みに迫力を感じた。

本間知広

「特定地域づくり事業協同組合は、地方創生にとつては一丁目一番地」という言葉が印象に残った。

鳥根県大田市

世界遺産石見銀山

石見銀山遺跡は、平成19年に世界遺産に登録。当初は、81万人ほどが訪れたが、6年度には27万人に落ち込んでいる。いかに足を運んでもらえるか、魅力を伝えるかという課題を抱えている。

市内の小中学生は、石見銀山の学習をする機会があり、各学校でテーマを決めて取り組んでいる。

《視察を終えて》

那須正幸

世界遺産があると言っても観光客が集まるとは限らない。周りの観光地との連携や周知、協力が必要と感じた。

駒井江美子

歴史的な価値、魅力をいかに伝えるかというのは、当町の小山崎遺跡にも共通するものがあると思った。



石見銀山世界遺産センター



大森町の町並み

福島県川俣町

議会改革等

川俣町議会は、議会活動の活性化を図るため、2年12月から4年12月定例会まで2年にわたって「議会改革等に関する調査特別委員会」を設置し、議会・議員の役割の整理を起点に、住民参加や情報公開のあり方、委員会活動を含む議会機能の強化、議員報酬・議員待遇までを一体で検討した。町民アンケートで寄せられた期待や課題も踏まえ、最終報告書として論点・課題



川俣町役場にて

宮城県女川町

議員養成塾



女川町役場にて

題・改善の方向性を整理。報酬等審議会の審議を経て議員報酬の増額も実施している。7年には議会改革行動計画を策定し、進捗と成果を点検しながら改善を積み重ねる考え方である。改革を報告書の作成だけで終わらせず、議会自らが説明責任を果たしつつ、改善につなげる運営が特徴である。

《視察を終えて》

渋谷敏

議員のなり手不足を解消するための報酬改定は町の将来のために大切なこと。今後慎重な議論が必要と感じる。

遊佐亮太

議会議員として一般質問や質疑をどう行うのが適切かという基本にも触れ、改めて身が引き締まった。

議長 高橋冠治

議会に關してのアンケート調査結果を踏まえ4項目にわたり議会改革の細かな調査報告がされ、説得力がある。

女川町議会では、議員のなり手不足対策として「議員養成塾」を7年6～9月に全5回開催した。平日19時から約1時間を基本とし、9月議会の傍聴も1回に含め、議会の現場を体感できる構成としている。内容は①議会と議員の役割②委員長による委員会活動の説

明と行政用語解説③一般質問の仕方④「議員になるには」として1期、2期目議員による出馬経緯の講話など。議員全員が講師を分担し、内容は各議員に委ねた。参加は当初8名、途中から1名増えて計9名(町外3名)。経費としては初回講師の交通費程度で、消耗品などは既存予算で対応した。個別に確認はしていないが、立候補につながりそうな受講者もいたとのこと。参加者からは、議員の人柄や専門性を知れた、議会の仕事が条例・予算だけではないと分かったなどの声が寄せられた。8年度は初回・リピーターでクラス分けし、より実践的な講座も検討している。

《視察を終えて》

那須正幸

養成塾では議会用語や一般質問・質疑のやり方を講話、講師は各議員が行うことで議員のスキルアップにもつながる。



女川町役場議場での集合写真

講師議員が選挙活動や費用の話もしたと聞いた。当町も前回無投票であったため、検討が必要と考える。

伊原ひとみ

土門治明

シリーズ 遊佐人²⁴ Yuzajin

発足の経緯



遊佐中学校での様子

「遊佐とんぴんがたりの会」は、元をたどると昭和57年の公民館事業の昔語りの講座が始まりです。その後、平成14年に60歳以上が参加できるベテランズカレッジの講座参加者たちで「遊佐とんぴんがたりの会」が発足しました。当時は16人ほどいましたが、現

昔話を語る

遊佐とんぴんがたりの会

子どもたちは遊佐の宝。子どもたちを育む施設や団体を訪ねます。今回は、遊佐弁で昔話を語る「遊佐とんぴんがたりの会」。代表の高橋鏡子さんにお話を伺いました。

在は、7人が所属しています。

遊佐弁で昔話を語る

会の先輩がまとめてくれた「あさこといんぴんがたり」の本や、メンバーそれぞれがいろんな昔話を本屋さんなどで探して勉強しています。そして、自分の好きな話や語りやすいものを覚えて、遊佐弁で語ります。覚えると言っても、一字一句全部覚えるのではなく、あらすじを覚え、遊佐弁で自分の言葉で語っています。声をかけてもらったところで活動していて、町内だけでなく、酒田市の老人会や、三川町の小学校で活動することもあります。かつては西遊佐小学校や、杉の子幼稚園に定期的にやっていました。現在



基本は何も持たずに語ります

は、遊佐中学校の特別支援学級で月2回活動しています。本の読み聞かせや紙芝居と違って何も持たずに語ります。それでも、子どもたちが集中して一生懸命聞いて、反応してくれるのがとてもうれしいです。また、大人からも、昔こういう話を聞いたと言われ、喜んでもらったときがうれしい瞬間です。

遊佐弁へのこだわり

遊佐の言葉は、他の庄内地区の言葉とは違って独特な言葉があります。今の子どもたちは、あまり方言を話さなくなっって少し寂しいと思っています。方言なんて残して意味があるのかという考えもありますし、方言は消えゆく言葉なのかもしれません。でも、遊佐の方言、日本のきれいな言葉を残して行きたいと思っています。遊佐弁で昔語りをしています。

人前で話すタイプではないのですが、先輩が作ってくれた手作りの半纏(はんてん)を着るとスITCHが入り話すことができます。



手作りの半てん

今後考えていくこと、望むこと

図書館を活動の場所として使わせてもらってありがたいと思っています。今後もこの形を継続して活動していきたいと思っています。会員を募集しているの、興味がある方は図書館まで問い合わせをお願いします。

おじいちゃん、おばあちゃんたちが「よくばるとこうなるよ」というような話や昔話をお孫さんやひ孫さんに話して聞かせてほしいと願っています。



たくさんのお客さんの前で

12月6日に遊佐小学校で元日本代表が教えるドッジボール教室が開催された。子どもたちに人気の遊びと思っていたドッジボールに世界大会があったんだとびっくりした。元日本代表である先生のボールの速さにまた



表紙の写真 元日本代表と ドッジボール (遊佐町総合型クラブゆず)

びっくり。子どもたちは目をキラキラさせて、先生との本気のドッジボールを楽しんでいた。大人との本気の遊びは、楽しいんだよね。

議会を見学しませんか

遊佐町議会は、年間4回の定例会が開催されます。

3月定例会は、8年度予算と補正予算の審査が議場で行われます。

ぜひ一度、見学してみませんか？

3月定例会の予定

3月 3日(火)	本会議
3月 4日(水)	補正予算特別委員会・本会議
3月 5日(木)	一般質問
3月 6日(金)	一般質問
3月12日(木)	予算審査特別委員会
3月13日(金)	予算審査特別委員会・本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

議会クイズ No.127



問題
① 遊佐町で駆除されたクマの頭数は。
(11月25日現在)

- A 10頭
B 15頭
C 20頭

てください。
正解者の中から10名様に米・ちゃんスタンプカード・お買い物券10000円分を、お届けします。ご応募いただいた方の個人情報、この議会クイズ以外の目的には使用しません。町広報に折込みのハガキは使えません。なお、当選者は町民に限定させていただきます。

令和7年11月1日1700号の議会クイズには33名の方の応募があり、33名の方が正解でした。

- ② 松くい虫対策の追加補正金額は。
A 2700万円
B 3700万円
C 4700万円

答え ① A ② B ③ C
当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

- ③ 町民と議会の懇談会への参加人数は。
A 36名
B 46名
C 56名

ハガキの余白に答えのほか議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。

応募方法
ハガキに答えの記号
(例① A ② B ③ C)
住所、氏名、年齢を書い

★
あて先/999-8301
遊佐町遊佐字舞鶴202
役場内 議会事務局
締め切り2月28日
発表は次号です。

編集室より



令和8年、初の「議会だより」。

末広がり的一年であり、諸事がウマく運びますようにと願うものです。

皆様の声を市政に反映させるべく、努力をする決意を再確認する次第です。寒さ厳しい時期ですが、梅の蕾がほころび始め、春が近づいています。体調管理をして、志は高く物価は低くと思いつつ、年度末に向けアクセルオン!!

(佐藤俊太郎)

発刊人

議長 高橋冠治
議会広報常任委員会

- 委員長 本間知広
副委員長 駒井江美子
委員 斎藤弥志夫
委員 菅原和幸
委員 佐藤俊太郎
委員 今野博義